

# 1. 結婚という選択 - 若者たちの結婚離れを探る -

## (1) 結婚の意欲

### 結婚する意思をもつ未婚者は9割で推移

いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、近年わずかずつ減る傾向にあったが、前回調査(2002年)以降下げ止まりが見られ、今回調査でも男女とも9割程度で推移している。逆に「一生結婚するつもりはない」とする未婚者は男性でやや増えて7%台となったが、女性では5%台にとどまっている。

表1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

【 男 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	95.9%	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0
一生結婚するつもりはない	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1
不詳	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9
総数(18~34歳) (標本数)	100.0% (2,732)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)

【 女 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	94.2%	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
一生結婚するつもりはない	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
不詳	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3
総数(18~34歳) (標本数)	100.0% (2,110)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」

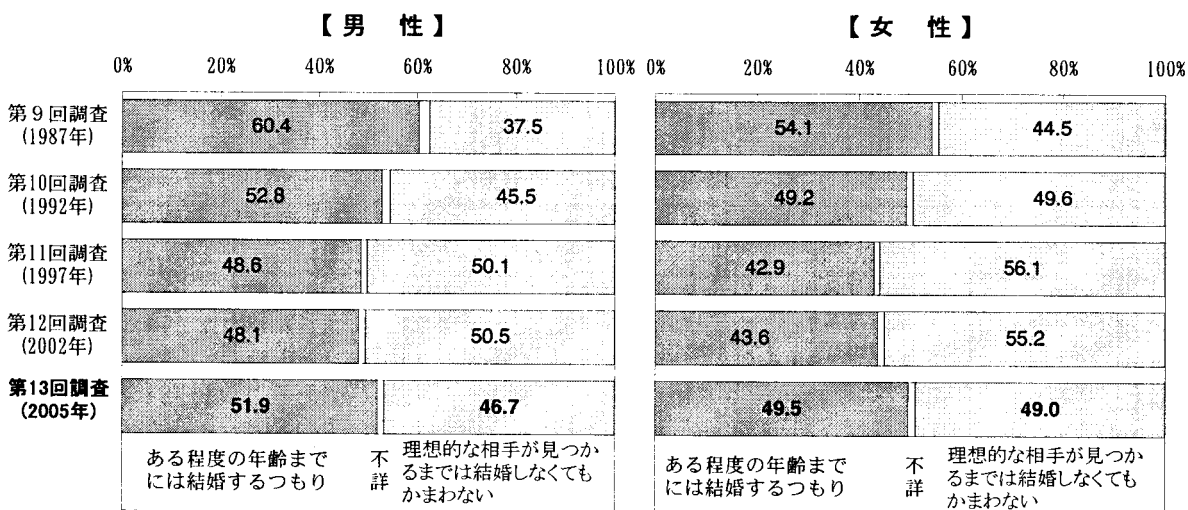
1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない

注：対象は18~34歳未婚者。年齢別の詳細な数値は付表1(巻末)参照。

### 結婚年齢にこだわる未婚者が増える

結婚する意思のある未婚者のうち「ある程度の年齢までには結婚したい」と考える者は、近年減少傾向にあったが、前回調査(2002年)から傾向が変わり、今回はやや持ち直して「理想の相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」とする者と五分五分の構成に戻った。

図1-1 調査別にみた、結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。詳細な数値は付表2(巻末)参照。

結婚を先のぼしする意識は継続

一年以内の結婚について「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者は、女性20歳代後半を除き増加傾向にあり、結婚を先のぼしする意識は引き続き増加する傾向にある。

表1-2 調査・年齢別にみた、「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者の割合

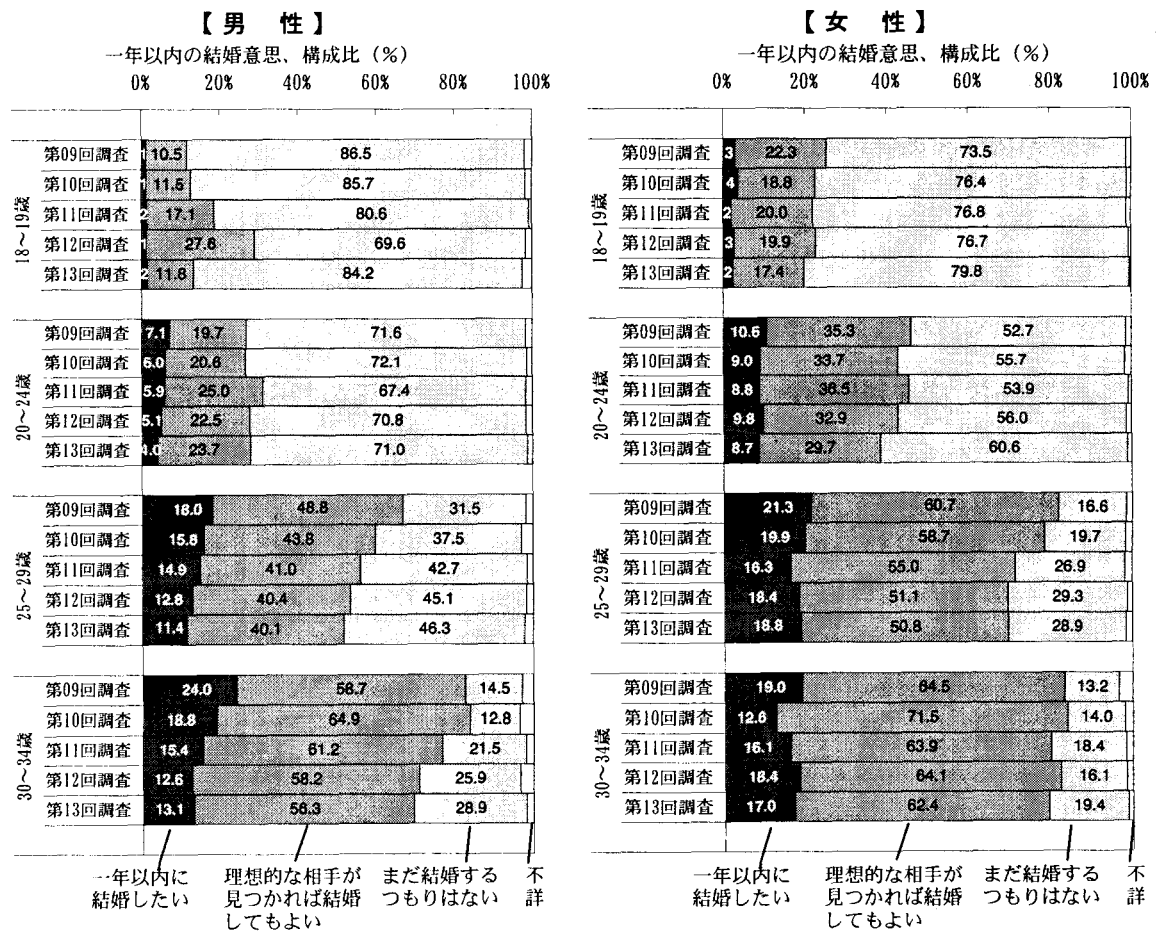
年 齢	【 男 性 】					【 女 性 】				
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	86.5%	85.7	80.6	69.6	84.2	73.5%	76.4	76.8	76.7	79.8
20～24歳	71.6	72.1	67.4	70.8	71.0	52.7	55.7	53.9	56.0	60.6
25～29歳	31.5	37.5	42.7	45.1	46.3	16.6	19.7	26.9	29.3	28.9
30～34歳	14.5	12.8	21.5	25.9	28.9	13.2	14.0	18.4	16.1	19.4
総数(18～34歳)	57.3%	59.3	56.5	55.9	56.0	49.5%	50.7	47.7	46.3	48.8
参考(35～39歳)	—	9.8	13.9	20.6	22.3	—	12.6	13.6	16.0	12.8

設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。」

1. 一年以内に結婚したい、2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3. まだ結婚するつもりはない。

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。「一年以内に結婚したい」「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した割合については付表3(巻末)参照。なお、参考として第10回調査以降について35～39歳の状況を示した。

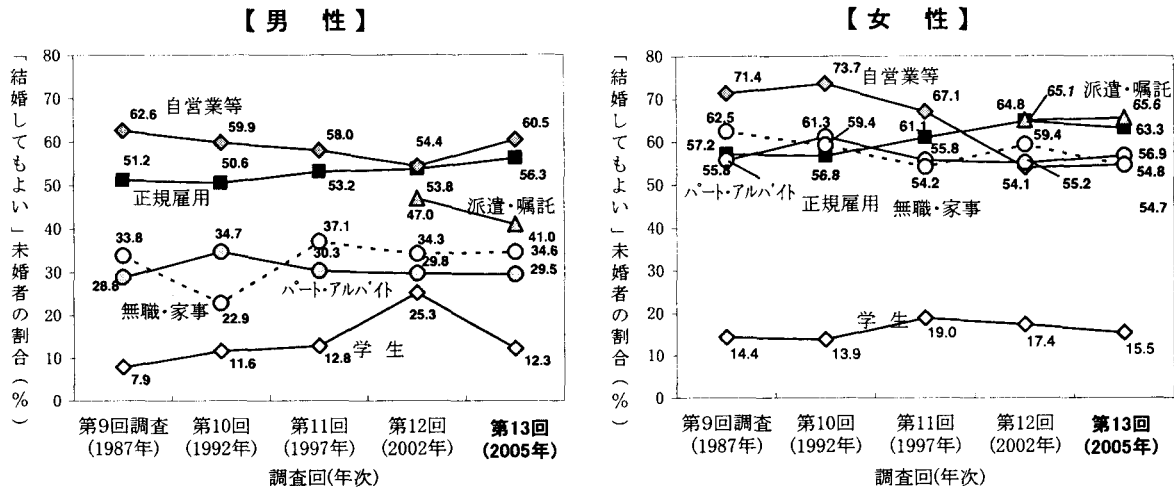
図1-2 調査・年齢別にみた、一年以内の結婚意思



## 男性では就業の状況によって結婚意欲が異なる

「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した未婚者の割合は、男性では就業の状況によって著しく異なる。自営業・家族従業等、正規雇用者で結婚してもよいと考える未婚者が多い。非正規就業者(パート・アルバイト)は無職・家事の人よりも結婚意欲が低い傾向にある。女性では学生を除くと男性ほどの差は見られないが、従来結婚意欲の高かった自営業・家族従業等の従事者で後退が見られ、相対的に正規雇用者、派遣・嘱託などの未婚者で意欲が高くなっている。

図1-3 就業の状況別にみた、一年以内に結婚してもよいと考える未婚者割合の推移



注：本図の数値は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した未婚者の割合。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加された。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

## (2) 結婚の利点・独身の利点

### 「結婚には利点がある」と考える未婚者がやや増える

結婚することに利点があると感じている未婚男女はやや増えて、男性65.7%、未婚女性74.0%となった。逆に利点はないと考えているのは男性の28.6%、女性の21.5%である。一方、独身生活に利点があると考えている人は男性83.8%、女性87.2%と、結婚に利点を感じずる割合よりかなり多く、こちらも今回やや増えた。

表1-3 調査別にみた、未婚者の結婚の利点・独身生活の利点に対する考え

		【男性】					【女性】				
		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
今のあなたにとって結婚することは	利点があると思う	69.1%	66.7	64.6	62.3	<b>65.7</b>	70.8%	71.4	69.9	69.4	<b>74.0</b>
	利点はないと思う	25.4	29.1	30.3	33.1	<b>28.6</b>	24.7	25.2	25.5	26.3	<b>21.5</b>
	不詳	5.5	4.2	5.1	4.6	<b>5.7</b>	4.5	3.4	4.6	4.3	<b>4.5</b>
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	<b>100.0</b>	100.0%	100.0	100.0	100.0	<b>100.0</b>
今のあなたにとって独身生活は	利点があると思う	83.0%	83.6	82.7	79.8	<b>83.8</b>	89.7%	89.0	88.5	86.6	<b>87.2</b>
	利点はないと思う	10.7	11.2	11.6	14.6	<b>10.3</b>	5.4	7.4	7.2	8.6	<b>7.6</b>
	不詳	6.3	5.2	5.7	5.6	<b>5.9</b>	4.9	3.6	4.3	4.8	<b>5.1</b>
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	<b>100.0</b>	100.0%	100.0	100.0	100.0	<b>100.0</b>
(標本数)		(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	<b>(3,139)</b>	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	<b>(3,064)</b>

設問：「今のあなたにとって、結婚することは何か利点があると思いますか。」 1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う、  
「それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。」  
1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う

注：対象は18～34歳未婚者。

## 年齢による結婚の利点の感じ方が一様になりつつある

結婚の利点の感じ方は従来20歳代後半で多く意識されていたが、近年これが減少し、逆に若い層で増加が見られた結果、男女とも年齢による違いが少なくなっている(図1-4)。一方、独身生活の利点の感じ方はもともと年齢による差が小さく、また調査によっても変化が少ない(図1-5)。

図1-4 年齢別にみた「結婚することは利点がある」と考える未婚者割合の推移

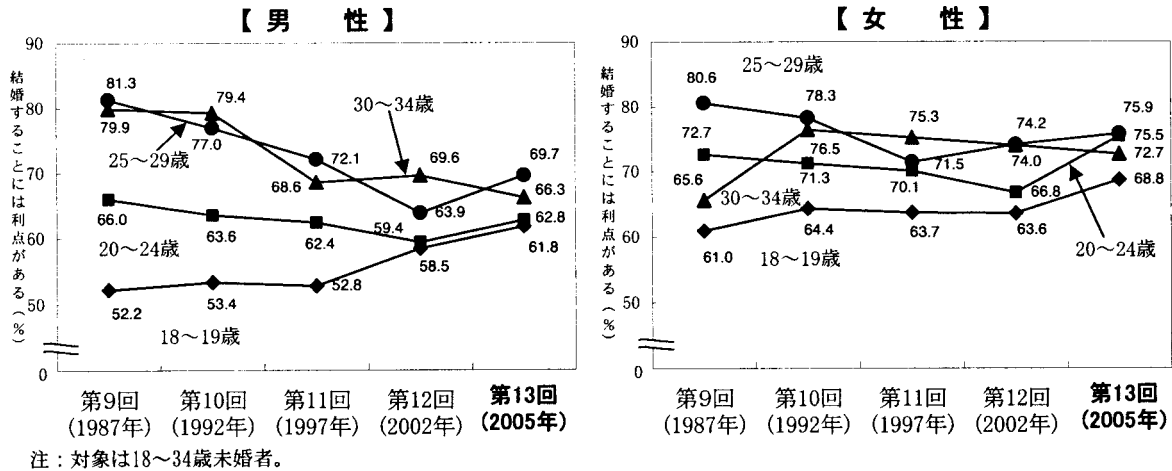
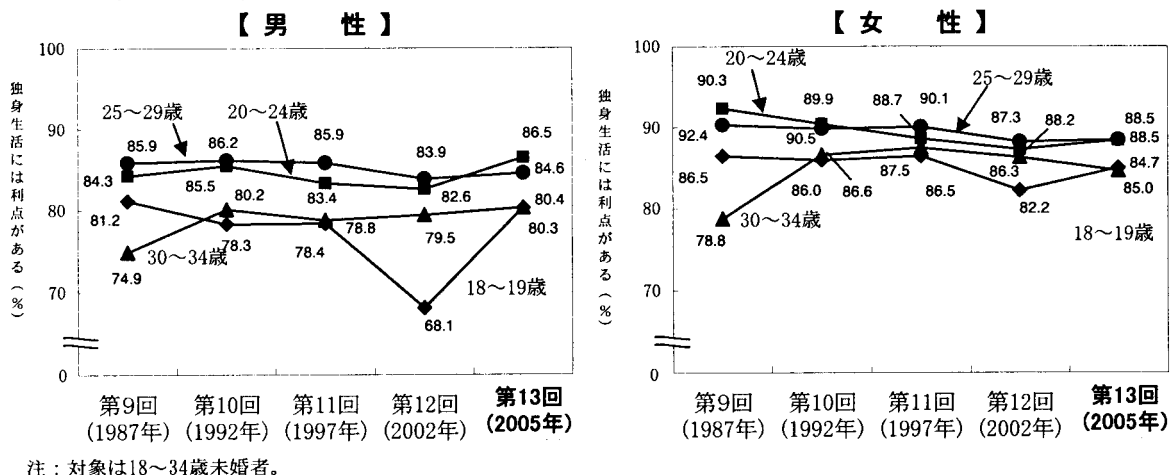


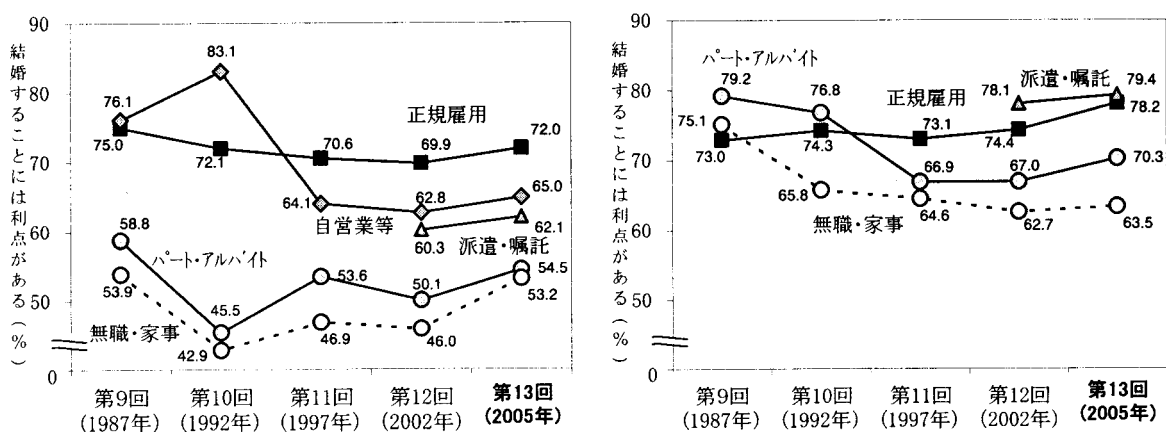
図1-5 年齢別にみた「独身生活は利点がある」と考える未婚者割合の推移



## 正規雇用者で高い結婚の利点

結婚の利点の感じ方は就業の状態によっても異なり、とくに男性では差が大きい(図1-6)。正規雇用者の場合、利点を感じる人は70%前後で安定的に推移しており、40~50%台の無職・家事等や非正規就業者(パート・アルバイト)から大きく隔たっている。女性では近年、利点の感じ方に就業の状況による差が明瞭になってきており、正規就業者、派遣・嘱託が最も高く、非正規就業者、無職・家事の順となっている。

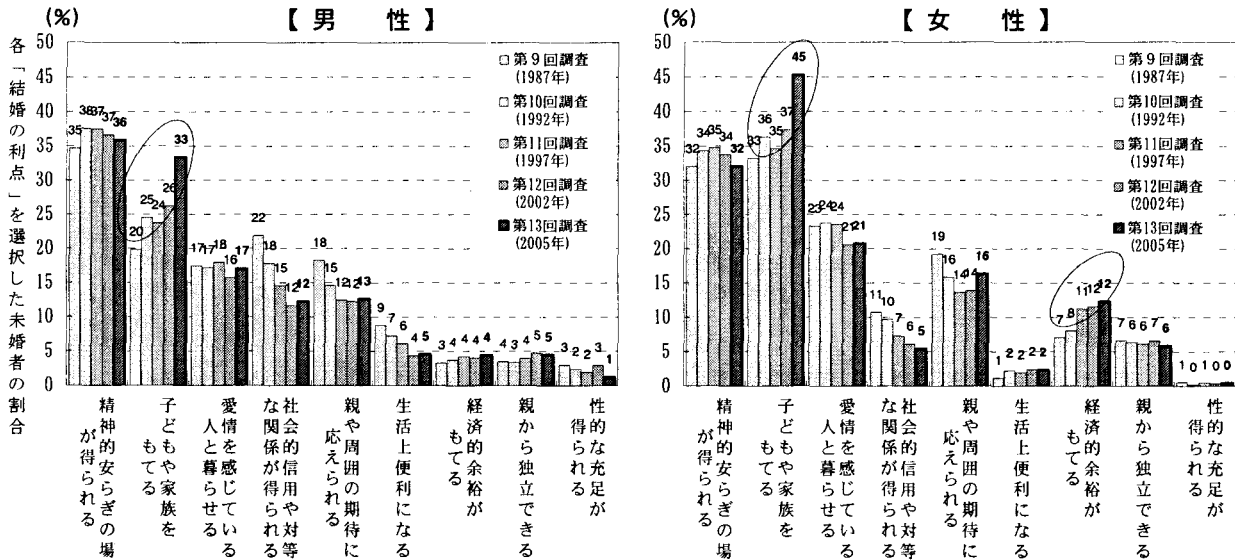
図1-6 就業の状況別にみた「結婚することは利点がある」と考える未婚者割合の推移



## 結婚の利点は「自分の子どもや家族をもてる」ことが大幅に増加

結婚の利点として男性では「精神的な安らぎの場が得られる」が最も多いが、女性では「自分の子どもや家族をもてる」が最も多く、後者は今回調査で男女とも大幅に増加した。三番目に多い利点として男女とも「愛情を感じている人と暮らせる」が続き、現在の未婚者の感じる結婚の利点は内面的事柄が上位を占めている。一方、結婚の実利面については、男性で「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」「生活上便利になる」が減少傾向にあったが、今回は横這いとなった。女性では「親や周囲の期待に応えられる」がやや増えたほか、「経済的余裕がもてる」を利点とする者がわずかながら増える傾向にある。

図1-7 調査別にみた、結婚することの利点

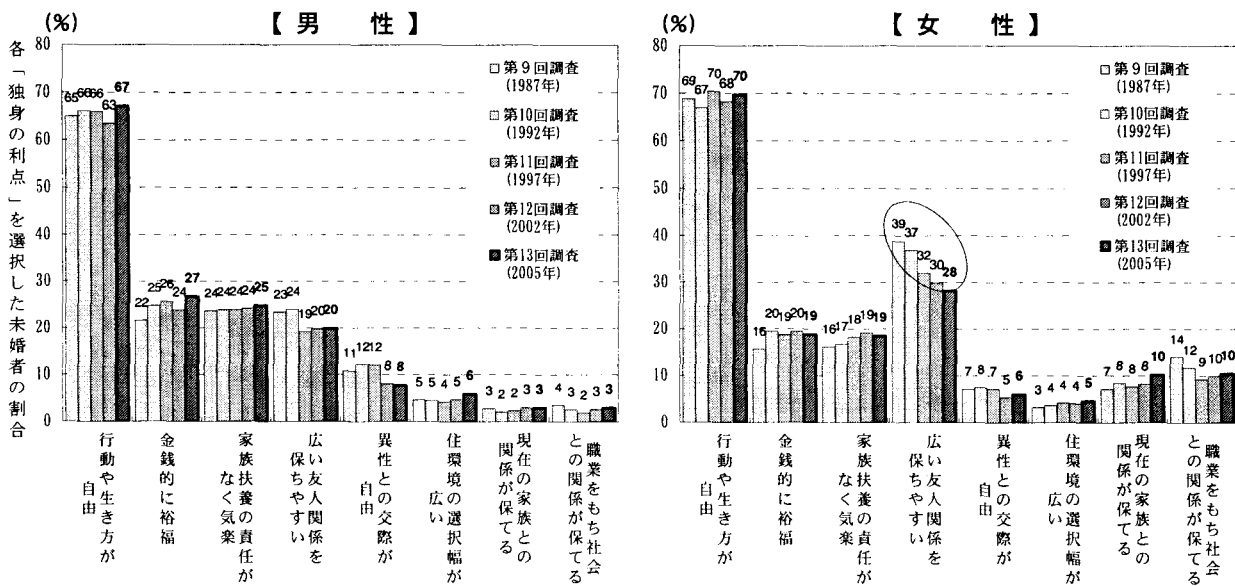


注：18～34歳未婚者のうち何%の者が、各項目を主要な結婚の利点（二つまで選択）として考えているかを示す。

## 独身生活の最大の魅力は「行動や生き方が自由」であること

独身生活の利点は、男女とも圧倒的に「行動や生き方が自由」を挙げる人が多い。それ以外では「金銭的に裕福」「家族を養う責任がなく、気楽」「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」などが比較的多い。これらのパターンは調査ごとにほとんど変化がない。すなわち未婚者は結婚すると行動や生き方、友人関係などが束縛され、家族扶養の精神的負担が加わると一貫して考えている。ただし、女性で広い友人関係が保てることを独身生活の利点とする人が漸減しており、この点に関する結婚の束縛感は緩んでいる。

図1-8 調査別にみた、独身生活の利点



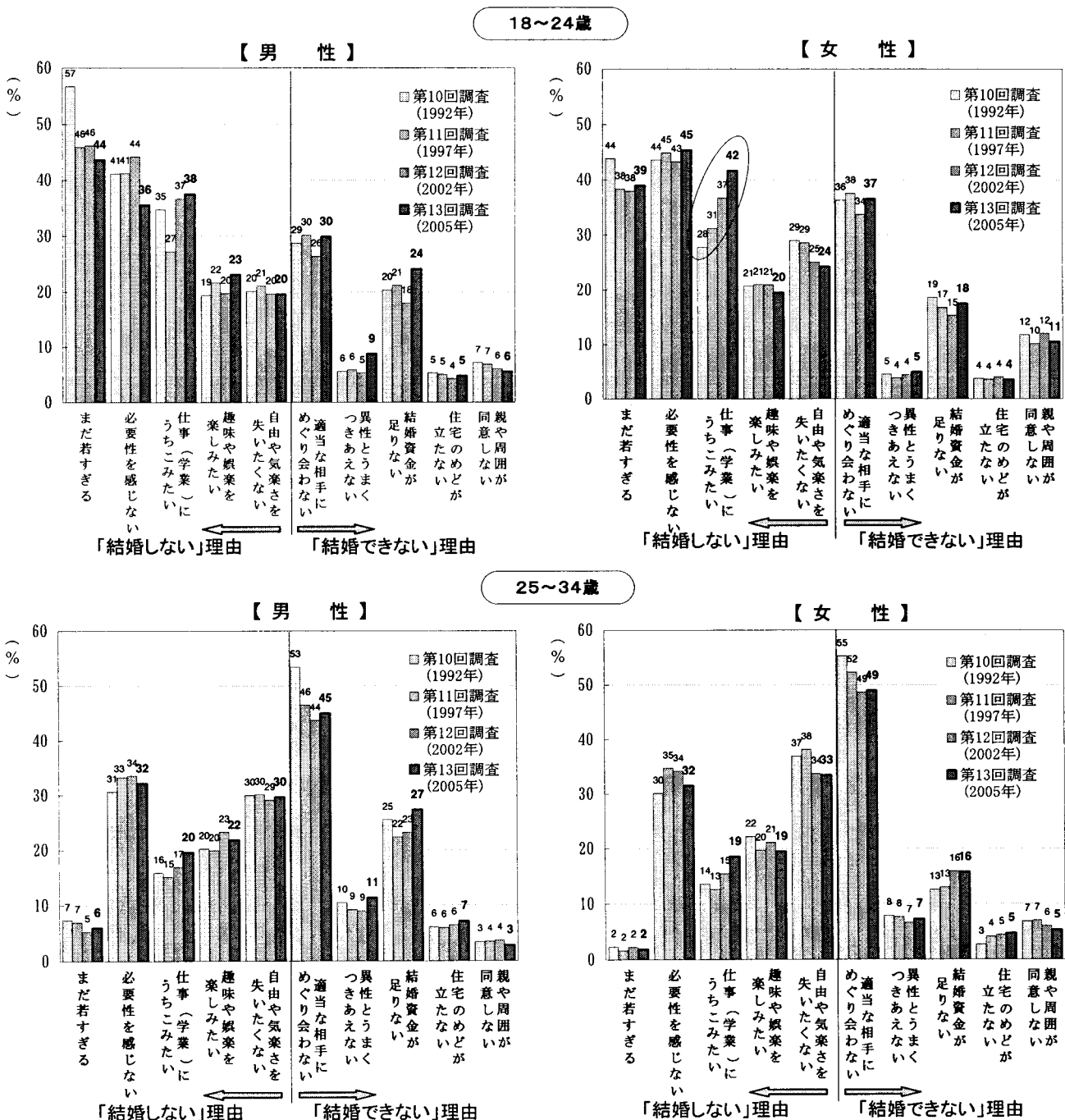
注：18～34歳未婚者のうち何%の者が、各項目を主要な独身生活の利点（二つまで選択）として考えているかを示す。

### (3) なぜ結婚しないのか？

#### 結婚をする積極的理由の欠如や、25歳を過ぎると適当な相手がいないことが制約

未婚者に現在独身にとどまっている理由をたずねたところ、25歳未満の若い年齢層では「まだ若すぎる」「必要性を感じない」などの結婚の必然性の欠如や「仕事（学業）」「趣味や娯楽」などの競合するものの存在、さらには「自由や気楽さを失いたくない」など、結婚をする積極的理由の欠如を意味する項目が多く選ばれている。しかし、25歳以上になると「適当な相手にまだめぐり合わない」という理由を挙げる者が半数程度いる。ただ、この年齢に至っても「必要性を感じない」「自由や気楽さを失いたくない」を選ぶ者は多く、とくに後者は若い年齢層よりも多く選ばれている。今回調査では「適当な相手にめぐり合わない」、男性で「結婚資金が足りない」などがこれまでの減少傾向に反して増えるなど、全般にやや傾向が変わった一方で「仕事（学業）にうちこみたい」は若い年齢層を中心に着実に増えており、とりわけ女性で顕著である。

図1-9 年齢階層別にみた独身にとどまっている理由



注：未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(三つまで選択)として挙げているかを示す。